



9月定例市議会 市長所信

9月議会が9月1日から20日までの20日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題につきまして、市長より所信が表明されます。今議会で表明された主な内容につきましては、次のとおりです。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。

消費者行政および消費者教育について

地方創生の中で中央省庁の地方移転の必要性が叫ばれる中、消費者庁の徳島県移転が検討されています。このたび新大臣においても消費者庁移転への意欲が示されていますが、その背景には、全国に先駆けした徳島県の消費者行政の先進的な取組が評価されたと考えています。

7月13日に、当時の板東久美子消費者庁長官が阿南市を訪れ、平成26年度27年度に「TOKUSHIMA消費者教育活性化事業」の実践校である阿南第二中学校と山口小学校の消費者教育について熱心に視察され、素晴らしい内容との評価をしていただきました。その後、板東長官と市役所や市消費生活センターにて、本市の消費者行政の取組や消費者協会の活動について意見交換を行いました。

今後とも、消費者庁移転を念頭に、県との連携を深め、本市としても移転に向けた取組をサポートしていくとともに、市民を守る、市民が自立する消

「あなん未来会議」について

あなん未来会議は、本市の中長期的な将来展望を描くために設置した、各界の専門家による会議です。

委員には、スポーツをはじめ観光、エネルギー、ビジネス、まちづくり、医療等の分野で活躍されている11人の方にご就任いただき、本市の未来を切り開く議論をスタートさせました。

平成27年10月20日に開催された第一回会議では、スポーツジャーナリストの二宮清純さんから、「野球のまち阿南」の取組と遍路の文化を組み合わせた新たな観光スポット、四国霊場89番札所「野球寺」を造ってみてはどうか、といった斬新な提案をいただきました。

このように、あなん未来会議では、内からの視点では気づかないような斬新なアイデアが提供されることから、今後も活発な議論が行われることを大いに期待し、本年度も10月と来年2月頃の2回の開催を予定しています。

加茂地区における河川事業について

近年、特に平成26年、27年と連続して甚大な浸水被害を受けた加茂地区では、国が昨年度から「那賀川床上浸水対策特別緊急事業」を概ね5カ年の計画で、集中的な事業展開を図っています。今年度からは、県の埋蔵文化財調査と調整を図りつつ、「加茂谷川低水護岸工事」や「県道の橋梁下部工事」に着工することとなりました。

本市でも、「築堤の効果」が一日も早く発現できるよう、早期完成をめざし、今後とも国・県をはじめ関係機関とさらなる連携を図りながら、積極的に取り組みでまいりたいと考えていますので、引き続き、地域の皆さま方、ならびに関係する方々のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

阿南駅キヨスク跡の有効利用

阿南駅の「キヨスク」が、8月末をもって、閉店となりました。

サテライトオフィスの誘致とテレワークの推進

8月から徳島県の補助事業である「とくしま回帰」推進支援交付金を活用し、那賀川町のコート・ペール徳島ゴルフクラブの会議室一角を借用し、サテライトオフィスを誘致を前提とした実証実験に取り組んでいます。今回の実験では、徳島市の中心部にも交通が便利な那賀川町において、企業の滞在者が実感できる上質なワークライフ・バランスとともに、滞在者の知識や経験、仕事のノウハウなどを活用したテレワークの育成指導などを実証実験することで、今後の誘致活動への参考にします。

こうした実証実験の結果を踏まえ、本市で味わうことができる豊かな暮らしと仕事の両立や、時間・場所にとらわれない柔軟な働き方「テレワーク」の推進に向けて、積極的にアピールしていきたいと考えています。

島原市との災害時における相互応援協定の締結

7月22日に阿南市役所において協定の締結を行いました。島原市とは、平成3年に発生した「雲仙普賢岳噴火災害」の復興支援として、平成4年8月に阿南商工会議所青年部の皆さま方が、島原と阿南の子どもたちに出会いと交流の場をつくり、友好を深めると

図書館での防災コーナーの設置について

近年大地震が多発しており、また近い将来発生が予測される南海トラフ巨大地震に備え、9月1日、防災の日から羽ノ浦図書館1階閲覧室に「防災コーナー」を設置しました。この「防災コーナー」には、市立図書館3館から集めた防災関係資料や購入する新刊本も含め、350冊程度の書籍の他に、防災対策課からの貸与による防災グッズなども展示する予定です。

市民の方々が、あらためて防災について学び、意識を高めていただく機会になればと思っています。

「北條民雄文学賞」について

阿南市出身の作家・北條民雄の生誕100周年と阿南市合併10周年を記念して創設した「北條民雄文学賞」ですが、応募期間中に、全国から65編の応募をいただきました。その後、推薦委員の方に作品を読んでいただき、8編の推薦がありました。そして、最終の選考委員である、作家 高山文彦さん、俳優 原田大二郎さん、脚本家 旺季志ずかさんの3人に、大賞1人、優秀賞2人を選出していただきました。また、「選考委員特別賞」1人が決定しました。受賞者および作品の発表は、平成28年12月の「広報あなん」に掲載し、授賞式は、世界ハンセン病デーの時期に合わせて、平成29年1月に文化会館で行う予定です。

行財政改革の推進について

本市では、昭和57年の阿南市行財政改善審議会の設置に始まり、これまで市民の皆さまのご意見を取り入れながら、時代に即した行財政の改善を進めてきました。現在は、平成24年5月に策定しました「阿南市行財政改革推進大綱」に基づき、57の項目を盛り込んだ実施計画により、さまざまな取組を進めています。

また、本年度は、その推進期間の最終年度に当たることから、現行の大綱等を見直し、平成29年度から5カ年を推進期間とする新たな大綱および実施計画を策定することとしています。

策定手順として、まず、庁内で組織する行財政改革推進本部で、大綱等の素案を取りまとめ、懇話会の審議やパブリックコメントを実施し、広く市民の意見を聞きながら、平成29年3月に策定・公表したいと考えています。

新野シームレス民泊

新野町の方々によって、平時はお通路さん向けの民泊として、災害時には避難所として活用できる、「シームレス（つなぎ目のない）民泊」の整備に向けた研究が始まっています。

民泊は、自宅等の空き部屋を利用して有料で宿泊場所や食事を提供するもので、観光のみならず、交流人口の増加や定住・移住化にもつながることか